

「ひとつのことば」

校長 山浦 麻紀



ヒマワリ

花言葉・・「あなたを見つめている」

早くも、もうすぐ梅雨明けです。太陽（おてんとうさま）の花といわれるヒマワリも咲き始めました。そして、今日も、校庭や体育館、音楽室や教室から、元気のよい子どもたちの声が聞こえてきます。子どもたちはあらゆる場面で「もっと 岸中前へ！」の心でよく頑張ってくれています。

さて、6月と7月は「いじめ撲滅強化月間」です。先日の朝礼で、生徒会や学校代表のメンバーが「劇」を披露してくれるなど、生徒のみなさんが先生たちと一緒に本気でいじめ撲滅について考えてくれています。私も話をしましたが、自分の行動が「本当に人として、人を大切にしているのか」と振り返ること、「いじめは絶対に許さない」と誓った自分にウソつかないことを忘れないようお願いします。

『ひとつのことば』 北原白秋

ひとつのことばでけんかして	ひとつのことばでなかなかおり	ひとつのことばで頭が下がり
ひとつのことばで心が痛む	ひとつのことばで楽しく笑い	ひとつのことばで泣かされる
ひとつのことばは それぞれに	ひとつの心を持っている	きれいなことばはきれいな心
やさしいことばはやさしい心	ひとつのことばを大切に	ひとつのことばを美しく

私たち 人間は「言葉」という素晴らしい、そして優れた文化をもっています。当然のことながら、心の中は目には見えませんが、言葉によって目には見えない心の中を 表現することができます。

しかしながら、私たち人間は、時折その「言葉」を舌刃（ぜつとう）という凶器にしてしまうことがあります。舌の刃と書くそのままに、まるで刃（やいば）のごとく相手をチクチク、グサッ・・・と何気なく発した言葉でも誰かのことを傷つけてしまう場合があります。

その反面、誰かに温かく声をかけてもらったり、柔らかみのある言葉を聞いたりすると、とてもホワッ、ルンルン・・・嬉しく優しい気持ちになります。温かい言葉は、人を幸せにします。

言葉には力があります。心が あります。だからこそ、常に言葉の使い方には気をつけたいものです。100年人生 well-being、「ひとつのことば」を大切にすることで、仲間を大切に、家族を大切に、周囲の人間を大切に、、、そして自分自身を大切にしたいと願っています。

岸中学校の1学期、1年生も2年生も3年生も、実によく元気にあいさつ交わして頑張ってくれました。1学期の大きな行事、5月20日の体育祭では、体育委員を中心に、見事「感動の入場行進」「讃え合う応援」を創り上げてくれました。また、学校総合体育大会では全ての部活動において「チーム一丸となって本気で挑み納得のいく大きな成果」をあげてくれました。3年生の修学旅行でも、「日本一のあいさつ」「学年の団結力」に感動です。

本当に様々な場面で数々の素晴らしい「もっと岸中 前へ！」の姿を魅せてくれました。

誇りあれ、岸中生！

保護者の皆様、地域の方々にも多くの場面で応援を頂き心より感謝致します。

暑さ厳しい折、くれぐれもお身体をご自愛ください。